

いじめ防止基本方針

松本市立筑摩小学校

I いじめ問題に関する基本的な考え

1. いじめとは

当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」とする。

なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。

【文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より】

《 いじめ指導の5原則 》

- ① いじめる側、いじめられる側の両者の気持ちを受け入れつつも、「いじめは許されない」と毅然とした態度で臨む。
- ② 「いじめられる側にも原因がある。」との考え方は認めない。
- ③ 第三者はいない。「見ていただけ」「関係ない」との傍観者の立場は許さない。
- ④ 人権感覚を育てる。「人種や障がい、能力、外見などは個人差である。」
- ⑤ いじめに負けない。「絶対に孤立させない」との覚悟をもって指導に臨む。
一人の理解者の存在が「命」を守る。

《 いじめの形態 》

- ア 冷やかしからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる（脅迫、名誉毀損、侮辱）
- イ 仲間はずれ、集団による無視
- ウ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする（暴行）
- エ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする（暴行、傷害）
- オ 金品をたかられる（恐喝）
- カ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする（窃盗、器物破損）
- キ いやなことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
(強要、強制わいせつ)
- ク パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる（名誉毀損、侮辱）

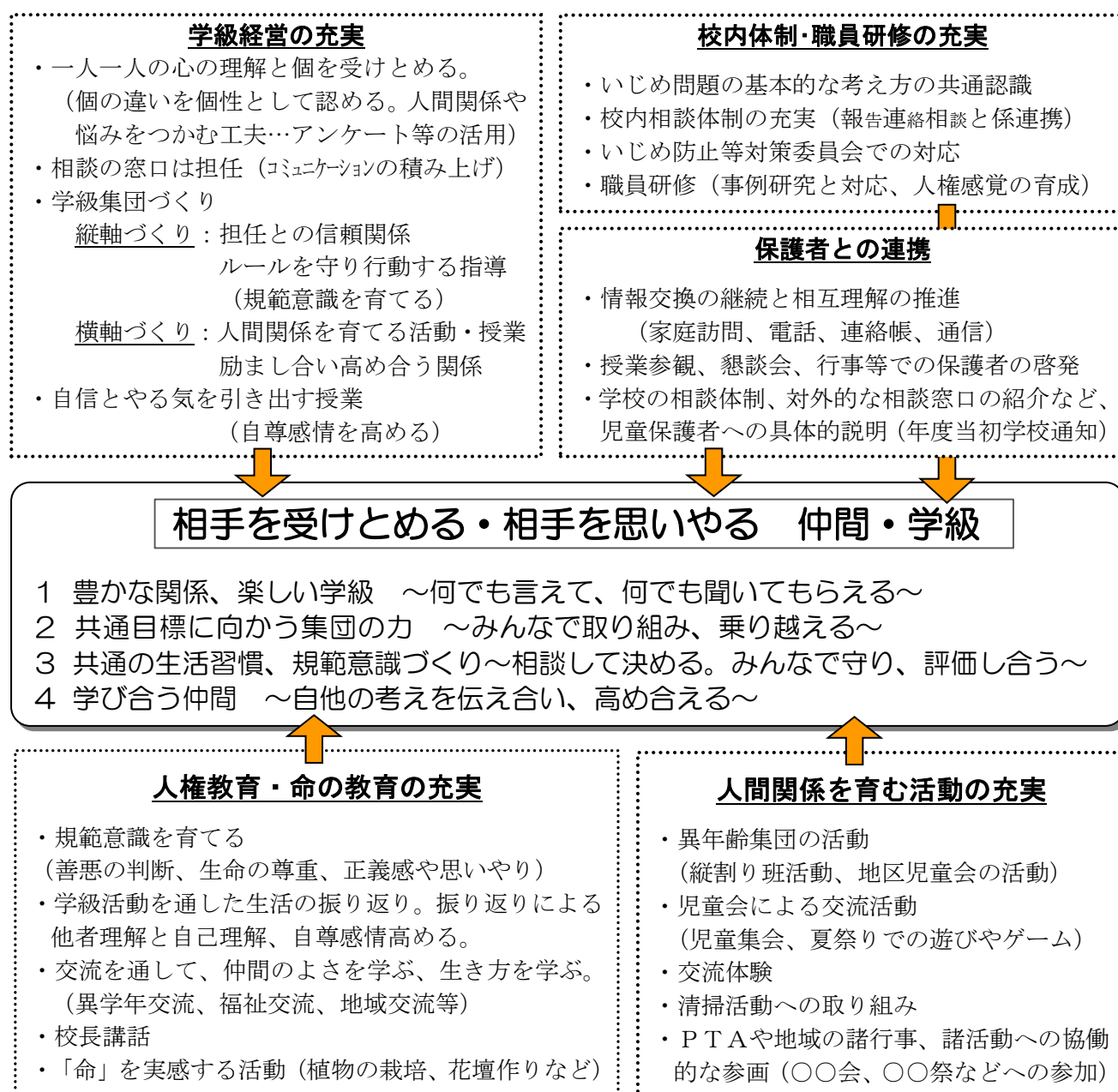
《 いじめが見えにくい背景 》

- いじめは大人の目に付きにくい時間や場所を選んで行われる。
 - ・無視やメールなど客観的に状況を把握しにくい形態で行われる。
- 遊びやふざけあいのような形態、被害者なのに加害者と仲の良い仲間の一員のような形態《カモフラージュ》
- いじめられている本人からの訴えは少ない。いじめられている子どもには、
 - ・親に心配をかけたくない
 - ・いじめられる自分はダメな人間だ
 - ・訴えても大人は信用できない
 - ・訴えたらその仕返しが怖いといった心理が働く。
- ネット上のいじめは最も見えにくい
ネット上でいじめにあっている兆候は学校ではほとんど見えない。携帯端末（通信ゲームができる機器は通信もできる）での通信により学年・学級の枠をこえた日常的なやりとりがあることを保護者、教職員がとらえておく。

2. いじめ防止等に関する基本的な考え方

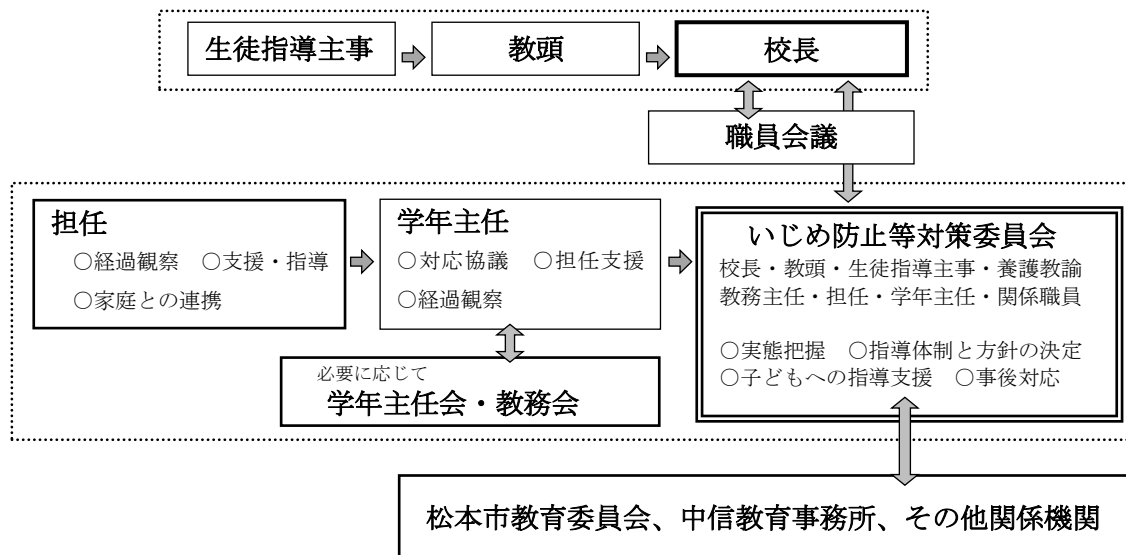
未然防止	→ 早期発見	→ いじめへの対応
いじめのおきにくい 学校づくり ○児童が、自他ともに尊重し、人間関係を築けるようにするとともに、安心・安全な環境づくりに努める。 ○児童の自己肯定感を高める。	ささいな変化や兆候を見逃さない ○児童を大勢の大人の目で見守るとともに、児童の保護者が相談しやすい環境を整える。	一人で抱えこまず 組織的に早期対応 ○いじめられた児童の心身の安全を第一に、気持ちに寄り添い、学校・家庭・地域が連携して支援・指導を行う。 ○<u>重大事態発生時</u>は関係機関との速やかな連携を図る。
ネット上のいじめへ対応 ・情報モラル教育の推進 ・保護者への啓発 ・家庭での情報端末機器使用ルールづくり		

3. 未然防止のためのいじめを生まない学校づくり

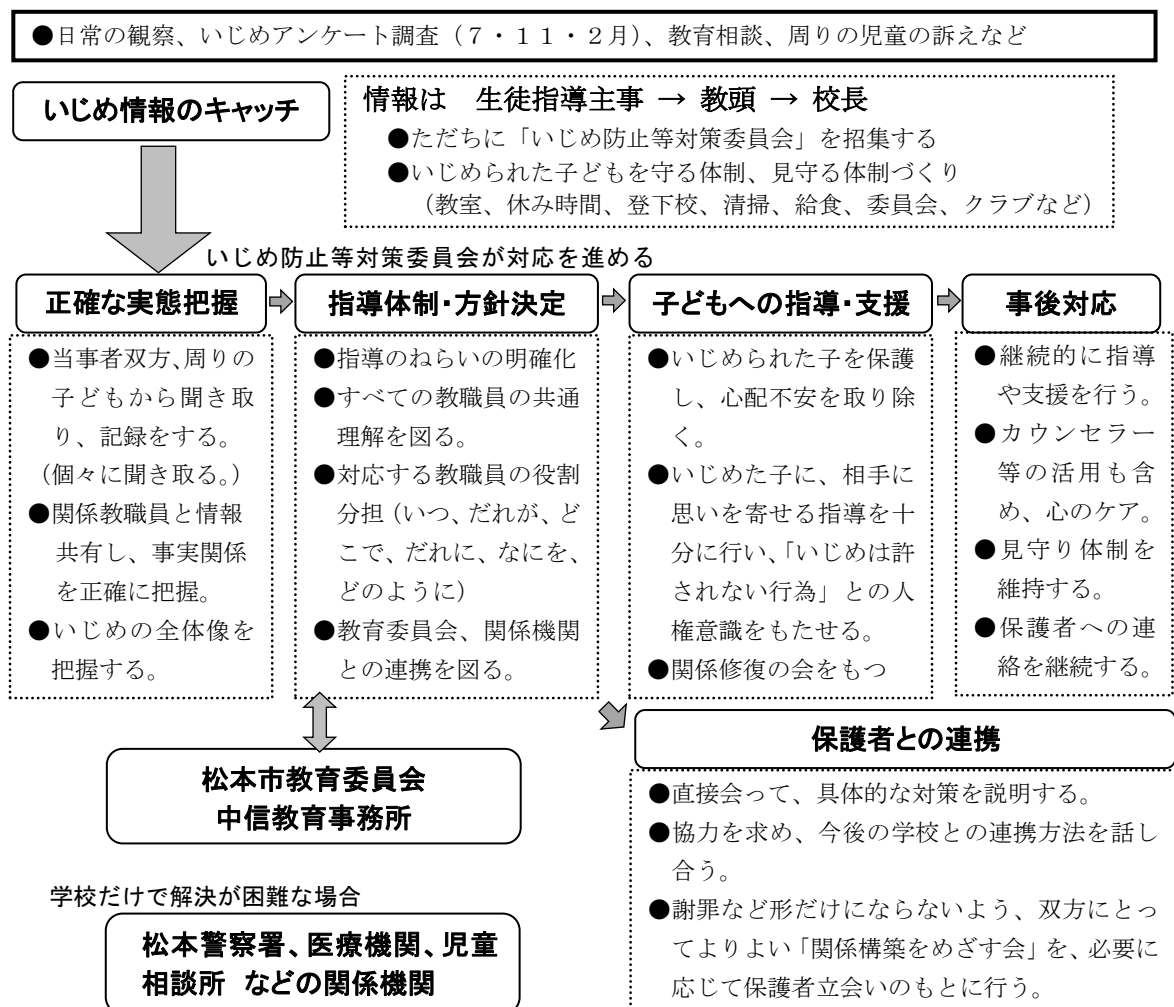


Ⅱ いじめの防止のための対策

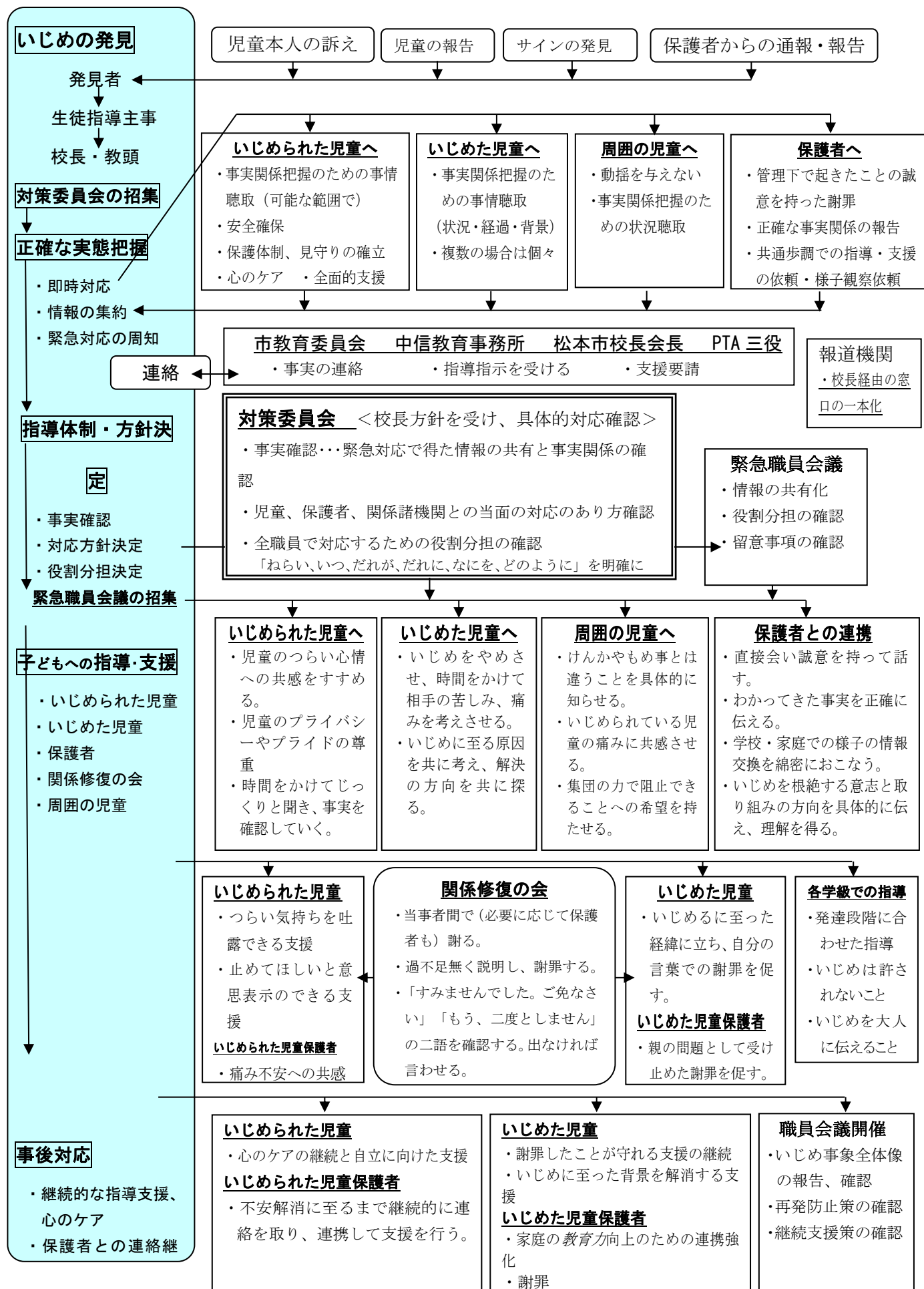
1. いじめ対応の組織



2. いじめ対応の基本的・組織的な流れ



3. いじめ発生時の対応マニュアル



いじめ早期発見のためのチェックリスト

いじめが起こりやすい・起こっている集団

- ☐ 朝いつも誰かの机が曲がっている
- ☐ 掲示物が破れていたり落書きがあつたりする
- ☐ 特定の子どもに気を遣っている雰囲気がある
- ☐ 学級やグループの中で絶えず周りの顔をうかがう子どもがいる
- ☐ 自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せつけない雰囲気がある
- ☐ 些細なことで冷やかしたりするグループがある
- ☐ 授業中、教職員に見えないようにメモを回したり、消しゴム投げをしたりしている
- ☐ 教職員がいないと掃除がきちんとできない
- ☐ グループ分けをすると特定の子どもが残る
- ☐ グループを作ると、机をはなす

いじめられている子

●日常の行動・表情

- ☐ わざとらしくはしゃいでいる
- ☐ いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている
- ☐ 下を向いて視線を合わせようとしない
- ☐ 早退や一人で下校することがふえる
- ☐ 腹痛など体調不良を訴えて保健室へ行きたがる
- ☐ 友だちに悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする
- ☐ おどおど、にやにや、にたにたしている
- ☐ 顔色が悪く元気がない、涙ぐむ
- ☐ 遅刻、欠席が多くなる

●授業中・休み時間

- ☐ 発言を友だちに冷やかされる
- ☐ 班編成をするときに孤立しがちである
- ☐ 学習意欲が減退し、忘れ物がふえる
- ☐ 教職員がほめると冷やかされたり、陰口を言われたりする
- ☐ 教室に一人でいることが多い
- ☐ 教室にいつも遅れて入ってくる
- ☐ 教職員の近くにいたがる

●昼食時

- ☐ 好きな物を他の子どもにあげる
- ☐ 食事の量がへったり、食べなかったりする
- ☐ 他の子どもの机から、机を少し離している
- ☐ 食べ物にいたずらをされる

●清掃時

- ☐ いつも雑巾がけやごみ捨て当番になっている
- ☐ 一人で離れて掃除をしている。

●その他

- ☐ トイレや廊下、教室の机やロッカー、持ち物に落書きをされる。
- ☐ 持ち物が壊されたりかくされたりする
- ☐ ボタンがとれたりポケットが破れたりしている
- ☐ 必要以上にお金をもち、友だちにおごっている
- ☐ 服に靴の跡がついている
- ☐ 手や足にすり傷やあざがある
- ☐ けがの状況と本人の説明が一致しない

いじめている子

- ☐ 多くのストレスをかかえている
- ☐ 教職員の機嫌をとる
- ☐ 教職員によって態度を変える
- ☐ 他の子どもに対し威嚇する表情をする
- ☐ 活発に活動するが、他の子どもにきつい言葉遣いをする
- ☐ 家や学校で悪者扱いされていると思っている
- ☐ 特定の子どもにのみ強い仲間意識をもつ
- ☐ 教職員の指導を素直に受け取れない
- ☐ グループで行動し、他の子どもに指示を出す